

絆

赤井むつみ後援会便り第46号

笑顔あふれる温かい町に！

2019年12月 発行



今年もお世話になり、ありがとうございました！

2019年もアッという間に過ぎ去ろうとしています。皆さまにとってどんな年でしたでしょうか？嬉しいことも残念なことも、それぞれにあったことと思いますが、心も身体も何とか元気に1年を過ごしてこられたことは、何よりの幸せですね。

今年は年号が変わったということもあり、今年を表す漢字は『令』でした。令という漢字には、めでたいという意味もあるそうですが、今年も温暖化による異常気象のため、台風や豪雨被害で亡くなられた方や、家が倒壊した方も多かったですね。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、1日も早い日常生活への復旧を心からお祈り申し上げます。

議会としてのトップニュースは、1月に岡島敬議員が亡くなられたことです。会派は違いましたが、同期だったのでいろいろなことを相談しながら、議会改革等に向け、一緒に取り組んできただけに本当に残念でなりません。岡島議員の思いを全て実現することは難しいですが、一緒に目指してきた姿に少しでも近づくことが出来るように、全力で取り組みます。

国外に目を向けると、香港の若者や今年の顔に選ばれたスウェーデンの環境保護活動家グレタ・トゥーンベリさん(16)の活動に代表されるように、若者のパワーが目立ちました。これからの時代を担っていくのは若者ですから、このように自分たちの国や生き方、環境についてしっかりと考え行動する姿は、本当に素晴らしいと思います。もちろん、暴力や破壊が伴わずに進むことが何よりですが……。これからの時代、若者にとって私たちのこれまでの経験はほとんど役に立たないと思いますが、人との繋がりだけはいつの時代も、どこの国でも大事だと思うので、違いを受け入れられる心、自分ファーストではない『お互いさま』『おかげさま』の心を伝えていきたいと思っています。私たちの役割をしっかりと全うできるよう、心も身体も元気で笑顔いっぱいの1年であるように、来年もよろしくお願い致します。



2020年は、庚子(かのえね)。庚子の年は、変化を求めて新しい事にチャレンジするのに良い年になると言われているそうです。八雲町としては、庁舎建て替えや研修牧場、日ハム工場の建て替えに出資予定など、新しいことが目白押しなので、良い年になるといいですね！ 皆様にとっても、良い年でありますように！

一般質問

問1 『誰一人取り残さない八雲町をめざそう！』

2015年9月、国連サミットで持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、北海道でも2018年12月に「北海道SDGs推進ビジョン」を策定。この中で、地方自治体においては、各種計画の改定に当たり、SDGsの要素を反映、地域における普及活動等が記載されています。八雲町でも障がいを抱えた方々、在日外国人の方々、LGBTQの方々、難病の方々などへの配慮や取り組みを障害者福祉計画、男女共同参画プラン、子どものいじめ防止条例など関係する計画やプランの中に明記し、町民と共に取り組むべきではないでしょうか？

答 『持続可能なまちをめざす』

国が策定する「ユニバーサルデザイン2020行動計画」により、共生社会の実現に向け、重点的に理解促進等を図る事項として、「心のバリアフリー」への理解を深め、社会全体で推進することになっているため、町の計画の内容も検討する。また、学校教育においてもユニバーサルデザインについては、「すべての人を個人として尊重し思いやりの心をもって助け合う態度を育て、共に生きる人間の心の育成を目指す」という精神に基づき、近年、積極的に取り入れた教育活動が推進され、町内の各学校においても教室環境や掲示環境に細やかな配慮がなされている。今後こうした考え方が広く社会に浸透し、すべての人の人権や尊厳が守られていくことが極めて重要なことと考えているので、男女共同参画プランやいじめ防止条例等にも、十分反映していきたい。また、新庁舎等を建てる際にも、十分に配慮し、今後とも将来にわたって持続可能な八雲町の実現を目指す。



問2 『子ども達をネット被害から守ろう！』

以前からネット被害に子ども達が巻き込まれる事件が増えています。また、10代・20代では、ゲームによる健康被害も取り上げられています。是非、教育機関だけではなく、関係機関が積極的に情報共有をし、みんなで見守る仕組み作りに向けて、早急に取り組むべきではないでしょうか？

答 『社会全体で見守る必要がある』

子ども達を被害から守るには、スマホ使用のルールを決めたり、有害サイトを制限するフィルタリング機能の利用、ネット社会のルールを理解して、適切に利用するための教育など、家庭や学校、地域など、社会全体で見守る必要があると考えている。急速に変化する社会の中で、乳幼児も、日常的にスマホ等に触れることが多くなっているため、昨年7月に、子育て支援センターにおいて、スマホなどの子どもに与える影響や、家庭で依存症にならないための対応策についての「子育てサポート講演会」を開催。今後も、地域における子育て支援策として、育児教室等の開催時に行う。現在、町内の多くの小中学校では、警察や携帯電話事業者、インターネットの安全利用に向けた啓発を行う「e-ネットキャラバン」の認定講師などを招き、インターネットの適正利用やネット依存に関する講習会を開催しているほか、テレビやゲーム、スマートフォン等に触れる時間を減らし、家族との会話や家庭学習、読書を推奨する「アウトメディアデー」を通して、児童生徒への啓発を行っている。

文教厚生常任委員会より（主なものを紹介）



- ★熊石地域に合葬墓が整備される予定です。場所は、熊石斎場の敷地内で300体程度の埋葬を予定。2020年度に整備し、委託管理者を調整中です。
- ☆「ふれあい交流センターくまいし館」では一般開放をし、児童が自由に遊べるようにしていましたが、来年度から「見守りスタッフ」を配置し、より安全に配慮した形で「放課後子どもの居場所」を提供すると共に、町内会等の団体と連携し、各種教室の開催も週1回程度検討しています。利用料はかかりませんが、保険料・材料費は必要です。
- ★来年度の成人式から、両地域合同で行います。2021年1月3日 14時より町民センターで行いますが、熊石地域の方はバスで送迎します。
- ☆国保病院建て替えの基本構想・基本計画について中間報告がありました。現在の人口は2100人。10年後には1600人になるとの予想も含め、病床数、病床機能、建設地等をしっかりと検討し、将来にわたって頼れる病院を目指していくとの報告でした。
- ★保健福祉課に関する使用料及び手数料等が、来年度から見直されます。大腸がん・肺がん検診が500円→700円。子宮がんの個別検診も少し値上がりします。でも、健康に生活するためには、体のメンテナンスは欠かせませんので、是非、1年に1度は検診を受けましょう！

総務委員会の主な内容



★自動車運転免許証自主返納支援事業について

2019年4月1日以降に自主返納された方、自主返納して1年以内の方を対象に、申請のあった後3年間に渡ってハイヤー助成券を交付する予定です。申請時期によって、助成券の交付枚数が減ることもありますので、詳しいことは役場にお問い合わせください。

☆岡山県有土地購入について

八雲町桜野にある岡山県の牧場跡地を、町営育成牧場用地として購入する予定です。購入時期は、2020年10月頃を予定しています。

★八雲町バイオマス産業都市構想の認定について

バイオマス都市構想の選定地域は、全国90市町村。うち今年度選定されたのは7市町。その一つに八雲町が選ばれました。今後、地域のバイオマスを活用した産業創出と地域循環型エネルギーの強化により、環境に優しく災害に強いまちづくりを目指します。（認定を受けたことで、国からの助言を含め、連携して支援を行うことが出来ます。）

☆八雲食肉センター株式会社（仮称）への出資検討について

八雲町と日本フードパッカー（株）との共同出資により「八雲食肉センター株式会社（仮称）」を設立する予定です。新会社を事業主体とし施設整備に係る国庫補助金を申請。道南工場から賃借した土地に新会社が施設・設備を整備し、その施設・設備を道南工場に賃借し、運営を日本フードパッカー（株）に委託。出資比率は、八雲町15%、日本フードパッカー（株）85%を予定しています

お知らせ！



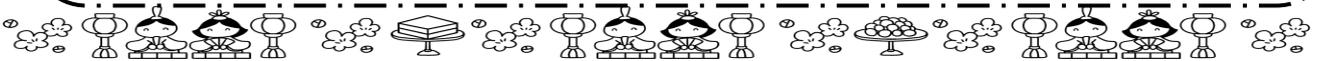
○議会報告会を行います。(2月12日)

はぴあ会場(2回行います)	13:30~	18:30~
熊石会場(くまいし館)	13:30~	
落部会場(レクセン)	18:00~	

議員定数・議員報酬についてもお話し合いをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。私はA班なので、はぴあ会場の昼と落部会場にお邪魔致します。お誘いあわせの上、是非、お越してください！おまちしております。

○お雛さま展示を行います！

2月15日~3月3日まで、梅雲亭でおひな様を展示しています。子ども達の手作りお雛様や、各地の珍しいおひな様もありますので、是非、お立ち寄りください。朝10時~16時30分まで開館しています。3月1日には甘酒、3日にはお抹茶もふるまわれますので、お楽しみに！



○「ささだ浩 新春の集い」が行われます！

2月15日(土) 午後6時~ はぴあ八雲 会費:2,000円です。
是非、お誘い合わせてご参加くださいね！



11月15日、熊石中学校と八雲中学校で人権に関する講演会を行いました。(男女共同参画社会をめざす会主催)今回の講師は、元やくざで今は牧師さんの鈴木啓之氏でした。テーマは「聞き方上手は生き上手」ご自分の体験をもとにとっても素晴らしい講演でした。そして更に素晴らしかったのが、中学生の感想です。「今日の講演を聞いて、自分の良さをしっかりと受け止め、無理して着飾ろうとしなくてもいいんだと思った。どんな姿であれ、愛してくれる人がいるということを学んだので、私も人を受けとめ、愛したいと思った。家に帰ったら『ありがとう』と言いたいです。」(一部抜粋…心が柔らかいですね)

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090(赤井)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090

ホームページは「赤井むつみ」で検索してください！

